

国 語
--------

# 令和四年度入学試験問題

## 受験上の注意

- 一、監督の指示により、受験する科目の解答用紙を使用してください。
- 二、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナを記入し、受験番号および該当する試験日をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
- 三、問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
- 四、国語の問題は、選択問題があるので、下記の【表】の指示に従い解答してください。
- 五、国語の問題は、二～三十六ページにあります。試験開始の合図があら、まずページ数を確認してください。
- 六、試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
- 七、質問、その他用件があるときは、手を上げて合図してください。
- 八、試験時間中の退場は認めません。
- 九、試験時間は六十分です。
- 十、この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください
---------------------

【表】 下記の印に従って解答してください。

	共通問題	一	二	選択問題	三		
		(現代文)	(現代文)		ア (現代文)	イ (古文)	ウ (漢文)
○印… 必答 △印… いずれか一つ を解答してください							
全学部		○	○		△	△	△

一次の文章を読み、後の問に答えなさい。

「社会」。この言葉はあまりにも頻繁に用いられるが、その意味内容についていえばあまりにも茫洋(注1)としている。いかなる形態であれ、人間がたんなる群れであることを超えてなにかの集合を形成している状態、それを「社会」だと考えれば、「サル」の社会から「古代社会」、「ムラ社会」、「企業社会」、はては「社会問題」まで何でもかんでも社会的なものだということになり、そうであれば「社会主義」<sup>(1)</sup>とか「社会政策」という語は意味をなさなくなる。じつさい、「社会党」や「民主社会党」といったかつての政党名などが意味している「社会」は、あきらかにある価値的な意味をもっていた。記号や表象が何でもかんでも性的(注2)なコンテキストをもつようになれば、性的なコンテキストが消失してゆくというアイロニーとおなじことがここにはある。

「社会」という概念がなにか規範的な意味を蒸発させて、「人の集合」をすべて表わすというふうにならなくなってしまう。これは、「市民」の概念についても同様にいえることで、「市民」とはだれのことかと問うて、そこからその概念が浮上した歴史的な経緯を<sup>(2)</sup>、、「市民」は社会を形成している「みんな」、人民も国民も住民もみな「市民」だということになってしまふ。「非国民」とか「非社員」というときの「国民」や「社員」が意味の限定をもつのおなじように、「社会」や「市民」もまたある限定された意味をもつのみならず、ある規範的な概念としてあつたはずだ。

いますこし詳しく見るならば、市野川容孝はその著『社会』のなかで「社会的」という語について、それは「特定の

志向する規範概念」であつたという。じつさい、「社会的」を意味するドイツ語のゾツィアル(sozial)は福祉政策的な意味合いをもち、国家による所得再分配のなかでいわゆる弱者の保護とフジヲ(フジヲ)を志向する語としてある。日本の政治史をふり返れば、一九一九年に内務省地方局内の「救護課」が「社会課」に改称され、さらに翌年には地方局じたいが「社会局」に改称されて、一九二二年には内務省の外局となる。そういう経緯もあつて、のちに新しい省として独立するときには当然のように「社会省」という命名が予想されたのであつたが、「社会」という語は「不適當」ということで、最終的には一九三八年に、近衛文麿首相提案の「社会保健省」でも陸軍省提案の「保健社会省」でもなく「厚生省」という名で発足することになった。その背景には、「社会

局」の権限強化をもくろむ動きと、一九二八年の「社会」主義者の大量検挙とがあつたという。党名でいえば、普通選挙開始後「社会民衆党」や「社会大衆党」が結成され、戦後は「日本社会党」が結成されて、自由民主党と日本社会党とが与野党として対峙するいわゆる五五年体制が長く続く。この間に「民主社会党」、「社会市民連合」なども結成される。<sup>(4)</sup> [ ]、一九八九年の日本社会党の躍進後ほどない九六年にはその日本社会党も消滅してしまう。「社会」という名をカンする政党は一九八〇年代までは国会議員数で三〇パーセント前後を維持していたのが、現在では一パーセント以下にまで衰滅することになったというわけだ。ちなみに、EUでは逆の現象が起っており、「社会的ヨーロッパ」の確立へ向けて諸国家が足並みを揃えつつあつて、一九九七年には英国でブレアの率いる労働党政権が、その翌年にはフランスでジョスピンの社会党政権が、さらにその翌年にはドイツでシュレーダーの社民党政権が発足している。

こう指摘したあと、市野川は日本政治史におけるこの「社会」の消失とともに、社会学研究においても、「社会的」という概念が内包する規範性はひたすら削ぎ落とされていったという。この背景には「公共性」というものが時代とともに没政治化されてきた背景があるとも。「公共性」の没政治化というのは、人びとの意識が私的なことから収束してゆき「社会」そのものが没政治化してゆくこと、つまりは「肥大した官僚制と行政システムに支えられながら、人びとが自分の私生活以外には何も気にかげずにまどろんでいくこと」にはかならず、こうして「社会的」なる語はかつて「自分以外の他者への気づかいと社会全体を見渡す力に支えられて産声をあげたはずなのだが〔……〕現実の社会的な国家（福祉国家）は、それとは全く逆の帰結をもたらした」というのである。

「社会的」の<sup>(6)</sup> [ ]とは逆に、「社会的」なるものが国家に対してある程度の自律性、ときには過剰なまでの自律性を帯びる場面もあるのであつて、市野川が宇城輝人とともに編集した『社会的なもののために』のなかで酒井隆史が、一九二〇年代に大阪で起こった借家争議をはじめ、労働争議、部落解放運動、企業訴訟などのほとんどの紛争にいわゆる狭客が一定の「調停力」をもつて介入していた事実を挙げている。かつての方面委員、戦後の民生委員らによる調整もそうである。これは「社会的」なものが内蔵する「資源」であつたし、ときに談合、ボス支配、癒着といった調整の過剰として現象してきたものでもある。

ここでいわれているのは、あきらかに法的な次元でいわれるのではない公共性であって、公／私の二分法を超えてはたらく、あるいはその水面下ではたらく「社会的」なるものの存在がそのことで指し示されている。いや、在るか無いかという「存在」としてではなく、「生成」するものとして。こうしてわたしたちは、「社会」(society)と〈社会的なもの〉(the social)、つまりは「社会形成力」とでもいうべきものとの二重性のなかで、わたしたちのいう《未知の社会性》を見てゆく必要があることになる。

「社会」なるものについて考えるとき、「社会」がつねに揺れ動くものであること、どこに震源があるかは定かでないままにたえず変容しているものであること、そういう変容の兆し<sup>きざし</sup>がともありふれた場所<sup>ところ</sup>にありながら、ありふれた場所だからこそだれも気づかないでいることに、あらためて思いを向ける必要があるようにおもう。波に煽<sup>あお</sup>られながら、それでも波を読み、なんとかフランスを保ち、進むべき方向を大筋において見誤ることのないように。物価・株価やGDPの変動、雇用形態や所得分布の変化、ここ数年のそういう「社会的変化」を数値データの解析をもとに論じることがもちろん大いに意味のあることではある。が、社会を半ば目覚めた個人的意識の集合として、あるいは制度というかたちで粹取<sup>しゅく</sup>られた個々の相互行為の総体として理解する前に、社会を<sup>(7)</sup>□として、つまりはつねに不透明なまま揺動する<sup>(8)</sup>□としてとらえるというあたりまえの視点を、わたしたちはつい忘れがちではないか。

社会はその総体が契約の体系として構築されているわけではない。諸個人が、ある法体系や法人を立ち上げるときのように、意志的に規約を設定して成り立つものではない。それは、ひとがその起動する理由<sup>わけ</sup>もわからずに巻き込まれ、押し流されてゆく、だれが指示者であるかも不明の、不透明な力動態である。それは、意識や行為の時間のみならず、習俗の時間、感情の時間、内臓の生理の時間、そしておそらくは細胞の時間までが<sup>(注4)</sup>輻輳<sup>ふくそう</sup>している不整合で分厚い歴史過程である。しかも、その過程は、抑圧や隠蔽<sup>べい</sup>、置換や歪曲<sup>わきま</sup>、逸脱<sup>てつ</sup>やヘンコウといった多次元の力学が錯綜<sup>さくそう</sup>し、一義的なベクトルとしてそれを読みとることも、その構造を突きとめることも不可能な、いってみればマグマの定まらぬ内圧<sup>(注5)</sup>によって褶曲<sup>しゅうま</sup>する火山脈のような様相を呈するものである。

(鷲田清一『素手のふるまい』問題作成上、一部を改変した)

(注1) 茫洋 広すぎてつかみどころがないさま

(注2) コノテーション 含意。あるいはある言葉に隠れている意味のこと

(注3) 俠客 義侠・任侠を建て前として世渡りする人

(注4) 輻輳 ものが集中して混雑している状態のこと

(注5) 褶曲 地層がひずみによってしわを寄せたように波形に曲がること

問一 傍線部分(1)「社会主義」とか「社会政策」という語は意味をなさなくなる」とあるが、なぜ意味をなさなくなるのか。

最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 日本においては日本社会党が一九九六年に消滅してしまったため
- ② 「社会」という語に付随する規範性がその語の意味内容を無力化させてしまったため
- ③ 規範的な意味が付与されていた「社会」という言葉から規範性が失われてしまったため
- ④ 「社会」という語が長年使用されることによってその語に内包される規範性が削ぎ落とされたため
- ⑤ 「社会」という言葉は頻繁に用いられるが、その意味内容は非常に茫洋としているため

問二 空欄(2)に入る語句として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 解釈すれば
- ② 想像すると
- ③ 補完すると
- ④ 意識させれば
- ⑤ 脱落させれば

問三 空欄(3)に入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 価値
- ② 事実
- ③ 市民
- ④ 政党
- ⑤ 歴史

問四 傍線部分(ア)、(イ)、(ウ)に相当する漢字を含むものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(ア) 、

(イ) 、(ウ) 。

(ア) フジヨ

- ① フ和雷同
  - ② フ遍的なこと
  - ③ フ号が一致する
  - ④ フ可思議な現象
  - ⑤ 親のフ養から外れる
- (イ) カンする
- ① カン婚葬祭
  - ② 終始一カン
  - ③ 学問にカン心をもつ
  - ④ カン迎会に参加する
  - ⑤ カン暖の差が激しい

(ウ) ヘンコウ

① 四国へん路に行く

② 大学にへん入学する

③ 皿の破へんを集める

④ 領土をへん還する

⑤ 人口が都市にへん在する

問五 空欄(4)に入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は  。

① しかし

② そこで

③ すなわち

④ とりわけ

⑤ したがって

問六 傍線部分(5)「社会的」という概念が内包する規範性はひたすら削ぎ落とされていったという」とあるが、なぜ削ぎ落と

されたのか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 日本の政治史において「社会」という語の意味が「不適當」として扱われてしまったため
- ② 日本の政治史をみると、自由民主党と日本社会党とが与野党として対立する状況が長く続いたため
- ③ 現実の社会的な国家が福祉国家を目指したことによって、人びとの他者への気づかみや社会全体を見渡す力が培われたため

④ 現実の社会的な国家では、「公共性」の没政治化が起こり、福祉国家の存立基盤の一つであるはずの他者への気づかみが失われていったため

⑤ 「公共性」の没政治化によって公共性の概念が変容した結果、肥大した官僚制と行政システムに代わり人びとの私生活が「社会」を支配するようになったため

問七 空欄(6)に入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 確立
- ② 収縮
- ③ 純化
- ④ 増殖
- ⑤ 内包

問八 空欄(7)、(8)に入る語の組み合わせとして、最も適当なものをつ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- |   |     |    |     |    |
|---|-----|----|-----|----|
| ① | (7) | 機能 | (8) | 組織 |
| ② | (7) | 規範 | (8) | 概念 |
| ③ | (7) | 構造 | (8) | 社会 |
| ④ | (7) | 資源 | (8) | 現象 |
| ⑤ | (7) | 動態 | (8) | 過程 |

問九 本文の内容に合致するものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は  (解答欄一行に二つマークすること)。

① 「社会」の語の意味を考えると、いわゆる辞書的な意味だけでなく、その語に含まれる価値的な意味も捉える必要がある。

② 「社会」を形成する基盤は「社会」のなかにいる「人」であり、その「人」が意識的に設定した規約にもとづいて構築されている。

③ 「サルの社会」や「企業社会」という用いられ方をみてもわかるように、「社会」という語には「人びとの集まり」といった集合の意味しかない。

④ 「社会」について考えるためには、社会の直近の数値的な変化をとらえるだけでなく、それをとらえどころのない力の複合によるものとみることが重要である。

⑤ 戦前の日本では、さまざまな紛争に際して俠客が介入し、調整に乗り出すことがあったが、その介入や調整を法という社会的資源を用いて、阻止していた。

## 二 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

しばらく米国の<sup>(注1)</sup>ベイエリアに滞在できることになったので、<sup>(注2)</sup>ファーマーズマーケットで働いてみることにした。

(中略)

わたしが働いているのは<sup>(注1)</sup>麴菌を使った発酵食品、味噌や塩麴の店だ。麴菌が<sup>(注2)</sup>塩梅よく醸せるよう丁寧な仕事で作られた味噌は美味しい。ベイエリアでは、発酵食品は健康や安心を求める人びと、そういった人びとに食を提供するシェフたちに非常に人気だ。世界的に有名なデンマークのレストランが発酵の本を出したこともあって、<sup>(注3)</sup>DIY発酵も盛んだ。もともと日本文化になじみがなくとも、塩麴や甘酒、果ては納豆菌を取り寄せて納豆まで自宅で作り始めた<sup>(1)</sup>強者もいる。こうした発酵食品は、肉食主義者にも人気で、ビーガンと呼ばれる、卵や乳製品も食べない<sup>(注4)</sup>肉食主義者も、発酵が生み出す糖や旨味を楽しんでいる。

同じビルには、酵母の発酵の仕組みを使った全く新しい食べものを出す店がある。インポッシブルミートという名の植物性人工肉で、原料は植物だ。ベイエリアではカフェやレストランでこの肉を使ったメニューを見かけるようになった。開発企業によれば、肉の風味はヘムという分子が作るのだという。そこで遺伝子工学を応用して、大豆由来のヘムを生み出す酵母を作り、大豆やジャガイモのタンパク質を醸させ、味つけする。すると牛肉そっくりの「肉」ができる。植物性油脂の手助けもあって、ジューシーさもあり、そこの牛肉よりもよっぽど「肉々しい」味がする。つまり、美味しい。今では肉食主義者から、健康を気にする人びとまで、広く顧客の幅を広げつつある。

麴の発酵食品も植物性人工肉も、分解と代謝の過程が人間にとって益となる副産物を生み出すのは同じだ。どちらも旨味と特徴ある匂いを生み、<sup>(2)</sup>後者の場合にはそれに加えてヘムを生み出す。

発酵食品を好むビーガンも、植物性人工肉を食べる人も、どちらも自分のリスク管理の手段としてそれらを選び、健康と安心を得ようとすることも共通している。異なるのは、植物性人工肉を選ぶ人は、肉食という欲望はそのままに、肉食に伴うリスクを避けようとしていることだ。肥満や生活習慣病といった疾病リスク、肉の生産・加工・流通の段階で使われるホルモン剤・抗生物質

によるリスクや、食中毒を招く病原菌汚染リスクを減らせるというわけだ。また、餌や育てられる場の環境汚染、化学物質から放射能汚染まで、さまざまな懸念をしなくてもよい。さらに、動物倫理や動物福祉という点でも安心だ。殺すために命を育てる必要がない。狭いケージでただ殺されるために生きることを動物に強いることもない。

こうした健康や安心上のリスク管理と同じか、それ以上に言及され、肉食を避ける消費者に重きを置かれているリスクがある。気候変動リスクだ。気候変動リスクへの対処と気候変動による影響の緩和・適応は、ここベイエリアで、確実に社会の食の姿の一端を変えつつある。

二〇一八年の気候変動に関する政府間パネルの『一・五度特別報告書』によれば、肉食から植物食への転換は、低炭素エネルギーへの転換、CCS（工場等で二酸化炭素を排出前に回収、地中貯留する対策）、そのほか気候工学を用いた対策に並ぶ気候変動緩和対策の一つだ。肉は食生活の中で三七％のタンパク質と一八％のカロリーを賄う。食料生産によって排出される温暖化ガスは全体の三一％、さらにその半分強は食肉生産による排出だ。完全に動物性肉食をやめれば、食料生産が排出するうち最大四九％の排出ガスが減らせる。牛肉を食べるのをやめれば、三三％が減らせる。<sup>3)</sup>世界平均の約三倍の肉を消費する米国民が動けば、その分、大きなインパクトが与えられるというわけだ。

植物性人工肉の開発企業の目標は、気候変動緩和のため、そして食肉生産の賄えなくなった気候変動後に適応するため、分解と代謝の過程を統御し、植物食を基礎とした新しい生態系と社会の持続可能な循環を作ることだ。肉を食う、味を楽しむという歴史的な文化を継続しつつ、遺伝子工学など科学技術を応用して「動物を介さずに」植物を肉に変える。

開発企業のウェブサイトや、開発研究者、企業経営者が国際会議などで語るのは、新しい文化の「味」を創り出す、という試みだ。現在の肉より美味しいと、人びとが新しい人工肉を積極的に市場で選び求める文化を創ることを目指すと言う。他にも、細胞を増殖させて肉・魚肉の塊をつくるラボミートの商品化など、<sup>4)</sup>これまで当たり前とされてきた自然と人間社会の物質代謝から離れ、人工的な循環過程の食システムの開発が進んでいる。

こうした新しい食システムの開発に、ファーマーズマーケットに並ぶ小規模で地産地消を旨とする有機畜産農家は、いつか、再

生可能エネルギーに対する石炭火力発電のように、食肉産業が旧産業だと言われる日も来るのかもしれない、とシニカルに笑う。<sup>(注5)</sup> 他方で、植物性人工肉を多く食べる資本主義的未来より、小規模の地産地消型で作られた肉を頻度と量を減らして食べる未来のほうが安心で、生き延びるための自由と術がある、と<sup>(5)</sup>。

植物性人工肉は、素人である消費者がみずから生産の内容を確認し、理解し、選択することが難しい。消費者から見ればブラックボックスを多分に含む。インポッシブルミートについて説明するときには、まず酵母に関する遺伝子工学の科学論文が持ち出される。専門家の言葉なくしてはその生産過程の詳細は語れず、消費者側も専門家なくしては科学的および社会的妥当性を議論することはできない。企業が商品生産から流通まで独占するから、その生産過程はきわめて効率的だが、他方で、素人である人びとが生産に携わる機会ほとんどなくなり、市場で商品としてのみ手に入れることになる。味やカロリーなどのバランスも、企業により決定される。市場に出てきた味が、消費者の手に入る限られた選択肢になる。

商品は、生産、流通、消費、廃棄（循環）の一連の過程に絡むたくさんの人びとや社会の思惑や欲望が混ざり合い、駆け引きをしあうハイブリッド・フォーラムで作られ、市場で価値を持つものとして現れる。ここでは、消費者動向、マーケティング、社会情勢なども（専門家を通じて）議論されるから、一見、消費者がイニシアチブをとれ、自由度が高いように見える。<sup>(注7)</sup>

A きわめて専門性と独占性の高い科学技術の前では、素人消費者は専門家の言葉から判断せざるを得ない。よって、専門性の高い商品の場合、素人である消費者は実質的にハイブリッド・フォーラムの中で疎外されうる。

B、新しい高度加工食品の「肉」食のシステムにおける人びとの自由はしごく狭く、市場と専門家への依存度はこれまでよりも高くなる。しかも素人が扱える自前の技術にするのも難しい。お金がないから、裏庭で大豆とジャガイモを作って自前でDIY人工肉作り、というわけにいかないのだ。

他方で、裏庭やベランダで野菜と鶏を育てることはできるし、麴菌を使った発酵食品は台所でも玄関でも醸せる。<sup>(7)</sup> 有機畜産農家の言う「自由」には、こうした生き延びるための食料生産と工夫の自由、そのための技術の応用のたやすさを獲得する自由も含まれている。

【I】 それでも消費者にとって、植物性人工肉という商品を選ぶことが、個人の健康から気候変動リスクまで、市場や社会に働きかけ、リスク回避のためにそれらを変えられる効果的な手段に思えるのも確かだ。気候変動をめぐる政治は、気候ストライキで若者が怒りを表現することから始めなければならぬほどの膠着状態にある。その現実の前では、少なくとも消費者の要望を市場の商品に反映させ、せめて選択を変えるほうが、世界を変える実際的な手段に思える。そして、欲望の向かう先を文化的に変え、大量生産・消費・廃棄の仕組みを効率的に無駄なく循環させるほうが、欲望を抑えたり、大量生産・消費・廃棄の仕組みを変えたりするよりも簡単で、個人の生活の充実を維持できるように思えるのだ。その結果が、素人である消費者のハイブリッド・フォーラムからの密やかな疎外と自由の縮小につながるなら、これ以上の皮肉はない。

(福永真弓「リスクがつくる肉食のかたち」問題作成上、一部を改変した)

(注1) ベイエリア 都市の湾岸地域

(注2) ファーマーズマーケット 農業生産者が消費者に直接、販売を行う市場

(注3) D I Y 「Do it yourself」の略。既製品を買うのではなく自分の手で作ること

(注4) 地産地消 その地域で作られた農産物・水産物をその地域で消費することや、その考え方

(注5) シニカルに 皮肉な態度で

(注6) ハイブリッド・フォーラム 様々な立場の人や組織が関与する、経済学上の場

(注7) イニシアチブ 主導権

問一 傍線部分(1)「強者」とあるが、本文中での「つわもの」という語の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 体力や筋力のある人
- ② 社会的に成功した人
- ③ 普通以上に巧みに物事を行う人
- ④ 不屈の精神を持っている人
- ⑤ 高い収入のある人

問二 傍線部分(2)「後者」が指しているものとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 大豆
- ② 植物性人工肉
- ③ 代謝
- ④ 益となる副産物
- ⑤ 特徴ある匂い

問三 傍線部分(3)「世界平均の約三倍の肉を消費する米国民が動けば、その分、大きなインパクトが与えられる」を説明したもののとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 肥満や生活習慣病といった疾病リスクを減らすことで、米国の医療費を抑えることができる
- ② 肉の生産・加工・流通の段階で使われるホルモン剤・抗生物質の摂取を減らすことで、米国民の平均寿命が伸びる
- ③ 殺すために、狭いケージで命を育てる必要がなくなり、世界的に動物倫理や動物福祉に貢献できる
- ④ 肉の生産や消費を減らすことによって温暖化ガスの排出が減り、世界的な気候変動リスクを軽減できる
- ⑤ 米国で植物性人工肉を食べる人が増えることによって、肉を食べる文化を後世に継承できる

問四 傍線部分(4)「これまで当たり前とされてきた自然と人間社会の物質代謝」と関わる食生活の例として、不適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 麹菌が塩梅よく醸した味噌を料理に使う
- ② 納豆菌を取り寄せて納豆を自宅で作って朝食で食べる
- ③ 細胞を増殖させて作った肉の塊のステーキを焼いて食べる
- ④ 頻度と量を減らしつつ地産地消費で作られた肉を食べる
- ⑤ 裏庭の畑でとれた大豆とジャガイモで煮物を作って食べる

問五 空欄(5)に入る語句として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 胸を突く
- ② 胸を借りる
- ③ 胸を躍らせる
- ④ 胸を痛める
- ⑤ 胸を張る

問六 空欄A、Bに入る語句の組み合わせとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① A しかし B すなわち
- ② A 加えて B それでも
- ③ A さらに B 逆に
- ④ A そのため B だが
- ⑤ A ただし B とは言うものの

問七 傍線部分(6)「自由はしごく狭く、市場と専門家への依存度はこれまでよりも高くなる」とする理由として、不適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 素人である消費者は専門家の言葉なくしては植物性人工肉の生産過程の詳細が語れないから
- ② 素人である消費者は専門家なくしては植物性人工肉の科学のおよび社会的妥当性を議論することができないから
- ③ 素人である消費者は植物性人工肉の生産に携わる機会がほとんどなくなり、市場で商品として植物性人工肉を手に入れることしかできないから
- ④ 植物性人工肉の味やカロリーなどのバランスは企業により決定され、消費者は関与できないから
- ⑤ ハイブリッド・フォーラムで植物性人工肉の消費者動向、マーケティング、社会情勢などが議論される際に消費者がイニシアチブをとれるから

問八 傍線部分(7)「有機畜産農家の言う「自由」が意味する内容を説明したものとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 地産地消を旨とする有機畜産農家が営む食肉産業は小規模のため、食料生産による温暖化ガスの排出規制の対象にならないということ
- ② 昔ながらの食肉産業では、企業に完全に管理された植物性人工肉の生産とは異なり、消費者も生産に携わることができるということ
- ③ 有機畜産農家の食肉産業は、動物保護団体が動物倫理や動物福祉を考える時に特例として対象外になっているということ
- ④ 有機畜産農家も科学技術を応用して植物を人工肉に変えられるようになり、生産する商品を幅広く選べるようになったということ
- ⑤ 地産地消を旨とする有機畜産農家も将来、植物性人工肉の生産市場に参入して生き延びる可能性を持っているということ

問九

【I】の段落全体で筆者が主張していることをまとめた文として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 20。

- ① 一人一人の消費者が植物性人工肉の商品を選ぶことが市場や社会に働きかけることになり、個人の健康から気候変動まで各種のリスクを確実に回避することにつながる
- ② 気候変動をめぐる政治は気候ストライキが起ころほどの社会問題になっているが、消費者が植物性人工肉の商品を選ぶことがその膠着状態の解消につながる
- ③ 植物性人工肉の商品を選ぶことで、消費者の要望を市場の商品に反映させることができ、世界を変える実際的な手段になる
- ④ 個人の生活の充実を維持しつつ簡単に気候変動リスクに対応するために植物性人工肉の商品を選べば、欲望を抑えることなく大量生産・消費・廃棄の仕組みを効率的に無駄なく循環させることができる
- ⑤ 消費者が植物性人工肉の商品を選ぶことは市場を変える効果的な手段に思えるが、実はその行動は大量生産・消費・廃棄の仕組みを根本的に変える手段にはならず、消費者自身の市場での自由度を狭める結果を招く

問十 本文の内容に合致するものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は 21 (解答欄一行に二つマークすること)。

- ① 遺伝子工学を応用して作られた植物性人工肉は菜食主義者や健康を気にする人びとに人気がある
- ② 発酵食品を好むビーガンも植物性人工肉を食べる人も、自分のリスク管理の手段として肉ではなく植物性人工肉を選んでいる
- ③ 植物性人工肉の開発企業の技術で植物性人工肉は現在の肉より安価で美味しくなったため、消費者は植物性人工肉を選んでいる
- ④ 植物性人工肉は企業が専門性の高い技術を使って商品生産から流通まで独占しているため、素人である消費者の関与の自由度は限られている
- ⑤ 植物性人工肉の開発企業の技術が公開されれば、誰でも裏庭で大豆とジャガイモから植物性人工肉を生産できるようになる

この頁は白紙です

以降は選択問題です。表紙の【表】の指示に従っていずれか一つを選択し解答してください。  
問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。  
選択問題を二つ以上解答した場合、得点にはなりませんので十分注意してください。

三ア 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

みんなで決める、というのが流行である。みんなで決めることは、いまや絶対善だと考えられている。というより、いまの時代、もはやそれ以外に善の基準がなくなっていると理解したほうがいいのかもしれない。「民主主義を守れ」がデモの唯一のスローガンになっていることからそれはわかる。憲法を改正するべきか否か、原発は再稼働するべきか否か、基地は沖縄に置くべきか否か、むずかしいことはわからないが、とにかくみんなで決めることが大事で、それだけ訴えていれば数を集められるというのが最近の反体制派が好む戦略のようだ。

けれども、「みんなで決める」ことはそれほど無敵の原理なのだろうか。欠点はすぐに思い浮かぶ。「みんなで決める」の原理は、かならずその「みんな」とはだれなのかという疑問を引き起こす。<sup>(1)</sup> [ ] には、そこに人種差別や性差別が忍び込んだ。もちろん

「みんな」の範囲をできるだけ拡張することはできる。けれども、いくら「みんな」の範囲を拡張したとしても、そこには結局のところ、いまこの瞬間に生きている人々しか含めることができない。死者は入らないし、生まれていない子どもたちも入れることができない。「みんなで決める」の原理は、本質的に、「いまここ」に生きる人々の利益しか考慮することができないのだ。

これは重要なことを意味している。民主主義は一般に、<sup>(注1)</sup> リベラルの左翼が重視する価値観で、<sup>(注2)</sup> 荒々しい資本主義を抑制するものだと思われている。<sup>(2)</sup> 国会前で「民主主義を守れ」と叫んでいる若者たちも、おそらくそう考えている。

それゆえ、<sup>(A)</sup> 民主主義と資本主義はこの点ではまったく対立するものではない。「みんなで決める」が政治の原理だということは、「いまここ」の利益が政治の基礎だということである。そして、「いまここ」の利益を最大化するために、人類は市場原理以上<sup>(注3)</sup>に効率のよい原理を知らない。「みんな」からなるべく効率よく意見を拾いあげ、その相違を数値化し、統計的に処理し、各人の利益と損失をなるべく等しくするように妥協点を算出する——それは資本主義がもつとも得意とする作業である。「みんなで決める」は<sup>(3)</sup> [ ] に「いまここに生きるみんなが得するように決める」を意味している。そのためには市場はたいへん役に立つ。

じつさにそれが原発再稼働や沖縄の基地問題で起きていることである。原発再稼働は長いあいだ危険が残る放射性廃棄物を生

み出す。基地造成のため破壊された珊瑚礁は二度と戻ることはない。いくらそういつたところで、地元は生活が苦しいのだ、金がないと解決できないのだ、そのためにはまず原発や基地が必要なのだと主張されれば、「みんなで決める」の原理では反駁することができない。「いまここ」の利益にもとづく政治では、大地や海の美しさと住民の幸福を天秤にかけ後者の皿が傾くのであれば、大地や海を汚染するのは「合理的」だと判断するほかない。資本主義と民主主義はそこではなにも対立しない。経済と法は「いまここ」の利益のもとではたやすく統合されるのだ。現在の経済学では、そのような理論がたくさん作られている。

むろん、ここには詐術がある。大地や海の価値はほんらいは、かつてそこに生きた死者たち、そしてこれから生まれる子孫たちにとつての利益も含めて算出されるべきなのであって、「いまここ」に生きる生者だけの利益をもとに算出すれば不当に低く評価されるに決まっている。<sup>(B)</sup>けれども、いまの社会は、政治においても経済においても、<sup>(4)</sup>その判断にあらがう理論をもっていないのである。それが「みんなで決める」を絶対善とすることの、もつとも厄介な<sup>(5)</sup>である。

ぼくたちはいま、「みんなで決める」が絶対善だとされる時代に生きている。いいかえれば、民主主義と資本主義の融合のもとで、「いまここ」の利益だけが計算される時代に生きている。

けれども、ひとはほんとうに「いまここ」だけで幸せになれるのだろうか。ぼくがここで思い出すのが、埋没費用という言葉である。

埋没費用は、回収が不可能になった費用を意味する経済用語である。たとえば、ある事業に資金や労力を投資したものの、もはや事業の失敗があきらかになった、そのときの投資済みの資金や労力が埋没費用にあたる。そして経済学では、埋没費用は端的に無視するのが合理的だとされる。よく出される例は映画のチケットである。チケットを買い、劇場に入場し、開始してすぐに映画がつまらないと判明した場合、そこで席を立つべきか否か。経済学者は、立つほうが合理的だと主張する。どうせチケット代は返ってこない。それならばチケット代という埋没費用は忘れ、残りの時間を劇場を出て有意義に過ごしたほうが合理的なはずだからだ。過去の愚行は忘れ、つねにゼロベースで未来の幸せを考える。それが経済学の思考であり、ビジネスの思考である。

<sup>(C)</sup>けれども、じつさいには多くのひとはそんな行動は取らない。戻ってこないチケット代に心を囚われ、無為な時間を過ごす。そ

ればかりか、その行動を合理化するため、退屈なはずの映画を褒め始めたりする。

ひとは埋没費用から自由になれない。それは経済学では、二〇世紀の半ばに開発され、商業的に失敗した超音速旅客機の名称から「コンコルドの誤謬<sup>びょう</sup>」と呼ばれたりもする。けれどもぼくは、それを「誤謬」と呼び、否定することに抵抗を感じる。

なぜならば、ぼくにはむしろ、それこそが人間の文化の源泉であり、人間性の核心のように思われるからだ。もしここに若い夫婦がいて、幼い子どもを亡くしたばかりだったとして、そんな彼らがただちに死んだ子の存在を忘れて新しい子を作ろうとするならば、たとえそれが合理的だとしても多くのひとはなにか不審なものを感じるだろう。同じことは国家間の関係についてもいえる。

<sup>(D)</sup> たとえば、日本がいまだに韓国から不信感をいだかれ続けているのは、日本がつねに第二次大戦の犠牲について、それは埋没費用なのだから忘れよう、「未来志向」のためになかったことにしようといっているからだ。日本の提案はもしかしたら、両国の未来を考えると合理的なのかもしれない。けれども、死んだ人間は生き返らない、だから忘れようといわれて簡単に忘れられるのであれば、だれも苦勞はしない。死者の追悼が必要なのは、ひとはそうたやすく埋没費用から自由になれないからだ。

死者は埋没費用だ。<sup>(6)</sup> それは民主主義と資本主義の外部にある。死者の思いについていくら思考を巡らせても、「いまここ」のぼくたちが幸せになることはないし、豊かになることもない。<sup>(7)</sup> □それは、ぼくたちが人間であるかぎり、いくら無視しようとしても無視することはできない。ぼくたちはコンコルドの誤謬を犯し続ける。<sup>(8)</sup> □ぼくたちは文化や物語をもっている。

ぼくはよく「誤配」という言葉を使う。ほんらいならあるはずのものではないけれども、しかし「誤って」存在してしまい、そしてそれによってむしろ人間の人間性を生み出すもの。おそらくはコンコルドの誤謬も、そんな誤配のひとつだ。コンコルドの誤謬＝誤配こそが、民主主義と資本主義の外部でもうひとつの原理を与えてくれる。哲学者はそれをしばしば公共性と呼んでいる。

みんなで決めるのが悪いのではない。いまこの幸せを求めるのが悪いわけでもない。けれども、社会はそれだけでは成立しない。戦後の日本は、過去の愚行を忘れ、面倒な死者の追悼を避け、つねにゼロベースで「いまここ」の幸せばかりを追いかけてきた。いいかえれば、民主主義と資本主義をうまくあいに調和させてきた。けれども、いまの日本は、埋没費用の亡霊を引き受けた「もうひとつの原理」をこそ必要としているのではないかと、「民主主義はこれだ」と叫ぶ若者たちを見るたびに感じている。

(東浩紀「テーマパーク化する地球」問題作成上、一部を改変した)

(注1) リベラル 政治において個人の自由を尊重すべきだと考える立場

(注2) 左翼 より平等な社会を目指すための社会変革を支持する立場

(注3) 市場原理 誰もが自由に参加できる市場において自由に取引が行われることで、商品の量や価格が適正に決定される仕組みのこと

問一 空欄(1)、(3)に入る語として最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。ただし、同じ語は一度だけ使うこと。

解答番号は(1) 、(3) 。

- ① 歴史的 ② 戦略的 ③ 抑圧的 ④ 原理的 ⑤ 学問的

問二 傍線部分(ア)、(イ)と同じ読みをする漢字を含むものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(ア) 、

(イ) 。

- (ア) 抑制 ① 教育 ② 悪性 ③ 翼竜 ④ 道徳 ⑤ 聴覚  
(イ) 妥協 ① 是非 ② 検事 ③ 秘密 ④ 角度 ⑤ 殴打

問三 傍線部分(2)「国会前で「民主主義を守れ」と叫んでいる若者たち」と筆者との考えの相違点を述べたものとして最も適当

なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 「みんなで決める」ことで、いま生きている人たちの利益を最大化できるかどうか  
② 原発や基地によって破壊される大地や海の価値を、政府が適切に捉えているかどうか  
③ 「みんなで決める」上で、市場原理よりも効率のよい原理があるかどうか  
④ 民主主義という価値観を、今後も政治の基礎とすべきかどうか  
⑤ 原発再稼働や基地問題にかんする決定を、民主主義によって覆せるかどうか

問四 傍線部分(A)～(D)のうち、本文における接続表現の使い方として不適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

56。

- ① (A) ② (B) ③ (C) ④ (D)

問五 傍線部分(4)「その判断にあらがう理論」として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 57。

- ① 民主主義 ② 資本主義 ③ 市場原理 ④ 埋没費用 ⑤ 公共性

問六 空欄(5)に入る語として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 58。

- ① 前提条件 ② 正当化 ③ 帰結 ④ 起源 ⑤ 計算式

問七 傍線部分(6)「それは民主主義と資本主義の外部にある」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを一つ選

び、マークしなさい。解答番号は 59。

- ① 民主主義や資本主義は、死者についての思考が幸せや豊かさをもたらす可能性を否定するということ  
② 死者を無視できないという私たちの思いは、民主主義や資本主義ではうまく説明できないということ  
③ 死んだ人間は生き返らないということは、民主主義や資本主義を持ち出すまでもなく明らかだということ  
④ 私たちが埋没費用から自由になるには、民主主義や資本主義とは異なる原理が必要だということ  
⑤ 民主主義や資本主義によれば、死者は、ほんらいあるはずがないのに「誤って」存在しているものだということ

問八 空欄(7)、(8)に入る接続表現として最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(7) 60、

(8) 61。

- (7) ① だから ② なぜなら ③ つまり ④ けれども ⑤ たとえば
- (8) ① だから ② なぜなら ③ つまり ④ けれども ⑤ たとえば

問九 傍線部分(9)「人間の人間性」とはどのようなことか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 62。

- ① 「みんなで決める」こと以外に、善の基準を見出せないでいること
- ② 映画を実際に見るまでは、その映画が退屈なものであると気づかないこと
- ③ 子どもを亡くしても、その子どものことをすぐに忘れてしまうこと
- ④ 旅客機ビジネスが失敗した後も、投資した資金にこだわり続けること
- ⑤ 過去に損害を与えた国から、現在も不信感をいだかれ続けていること

問十 本文の内容に合致するものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は 63 (解答欄一行に二つマークすること)。

- ① 現在生きている人間のことだけを考えるなら、「みんなで決める」ことは合理的である
- ② 埋没費用と死者の共通点とは、もはや取り返しがつかないということである
- ③ 他者に不信感をいだかせないためにも、私たちは死者という埋没費用を無視すべきではない
- ④ 合理性を追求する民主主義や資本主義は、私たちの人間性を損なうので放棄すべきである
- ⑤ 誤配は、「みんなで決める」に代わる絶対的な善の基準を提示する可能性を秘めている

三イ 次の文章は『源氏物語』「蓬生」の一節である。光源氏が赦免されて帰京し、久しぶりに花散里（妻の一人）を訪問する途中、末摘花（常陸の宮の姫君）の邸のそばを通りかかる場面である。これを読み、後の問に答えなさい。

(1) 卯月ばかりに、花散里を思ひ出できこえ、たまひて、忍びて、<sup>(注1)</sup>対の上に御暇、聞こえて出でたまふ。日ごろ降りつるなごりの雨、いますこしそそきて、をかしきほどに月さし出でたり。昔の御歩き思し出でられて、艶なるほどの夕月夜に、道のほどよるづの事思し出でておはするに、<sup>(3)</sup>形もなく荒れたる家の、木立茂く森のやうなるを過ぎたまふ。

<sup>(おほ)</sup>大きな松に藤の咲きかかりて、月影になよびたる、風につきてさと匂ふがなつかしく、そこはかとなきかをりなり。<sup>(4)</sup>橘にはかはりてをかしければ、<sup>(2)</sup>さし出でたまへるに、柳もいたうしだりて、築地もさはらねば、乱れ伏したり。見し<sup>(5)</sup>心地する木立かな、と思すは、<sup>(3)</sup>はやうこの宮なりけり。いとあはれにておしとどめさせたまふ。例の、<sup>(6)</sup>惟光はかかる御忍び歩きに<sup>(4)</sup>後れねばさぶらひけり。召し寄せて、<sup>(注2)</sup>「ここは常陸の宮ぞかしな」<sup>(惟光)</sup>「しかはべり」と聞こゆ。<sup>(源氏)</sup>「ここにありし人は、<sup>(5)</sup>まだやながむらん。とぶらふべきを、<sup>(6)</sup>わざとものせむもところせし。かかるついでに入りて<sup>(7)</sup>消息せよ。よくたづね寄りてをうち出でよ。人違へしてはをこならむ」とのたまふ。

〔源氏物語〕

(注1) 対の上 光源氏の妻の一人である、紫の上のこと

(注2) 常陸の宮 末摘花の父（常陸の宮。故人）の邸

問一 傍線部分(1)「卯月」について。

a 読みとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① さつき ② うづき ③ はづき ④ やよひ ⑤ むつき

b 陰暦で何月のことか。正しいものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 一月 ② 三月 ③ 四月 ④ 五月 ⑤ 八月

問二 〰〰傍線部分ア～オは、誰に対する敬意をあらわすか。最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい(同じ番号を

何度用いてもよい)。解答番号はア 、イ 、ウ 、エ 、オ 。

- ① 花散里 ② 光源氏 ③ 女房 ④ 対の上 ⑤ 惟光

問三 〰〰傍線部分①～⑤のなかで、過去の助動詞はどれか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① つる ② たり ③ に ④ なり ⑤ し

問四 傍線部分(2)「さし出でたまへるに」の解釈として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 光源氏が顔をさしだされると  
② 末摘花が扇をさしだされると  
③ 月の光が雲の間からさしだすと  
④ 藤の花の香りがたちこめると  
⑤ 松の枝が揺れて倒れかかると

問五

- 傍線部分(3)「はやうこの宮なりけり」の解釈として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は
- ① いつのまにか、この宮を通りすぎていた
  - ② それもそのはず、この宮なのであった
  - ③ かつては、この宮ではなかったはずだ
  - ④ いまとなつては、この宮も亡くなられていた
  - ⑤ もうすぐ、この宮にお会いできるはずだ

85

問六

- 傍線部分(4)「後れね」の文法的な説明として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は
- ① カ行四段活用の動詞＋完了の助動詞
  - ② カ行上二段活用の動詞＋打消の助動詞
  - ③ カ行下二段活用の動詞＋完了の助動詞
  - ④ ラ行下二段活用の動詞＋完了の助動詞
  - ⑤ ラ行下二段活用の動詞＋打消の助動詞

86

問七

- 傍線部分(5)「まだやながむらん」の解釈として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は
- ① いまも病気で臥せっているのだろうか
  - ② いまも物思いに沈んでいるのだろうか
  - ③ いまは自分を忘れてしまっているのだろうか
  - ④ いまは父宮の形見で心を慰めているのだろうか
  - ⑤ いまは一人で月を眺めているのだろうか

87

問八 傍線部分(6)「わざとものせむもところせし」の解釈として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

88。

- ① わざわざ自分が訪れるのも大げさだ
- ② わざわざ人をやるというのも面倒だ
- ③ わざわざ物を取りにやるまでもない
- ④ わざわざ引き返すほどのことでもない
- ⑤ わざわざ知らぬ顔をするのも気が引ける

問九 傍線部分(7)「人違へしてはをこならむ」の解釈として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

89。

- ① 人違いであつたら、お困りになるだろう
- ② 人違いであつたら、お悲しみになるだろう
- ③ 人違いであつたら、お喜びになるだろう
- ④ 人違いであつたら、もの笑いになるだろう
- ⑤ 人違いであつたら、腹立たしいことだろう

三ウ 次の文章を読み、後の問に答えなさい（設問の関係上、訓点を省いた部分がある）。

自<sup>(1)</sup>古盜賊、敗績之後、皆能<sup>(2)</sup>脱身自免。淳熙間、江湖茶商相  
挺<sup>(3)</sup>為盜、推<sup>(4)</sup>荆南茶駟<sup>(5)</sup>賴文政<sup>(6)</sup>為首。文政多智、年已六十、不<sup>(7)</sup>  
從<sup>(8)</sup>曰、「天子無<sup>(9)</sup>失德、天下無<sup>(10)</sup>他釁<sup>(11)</sup>、將<sup>(12)</sup>以何為。」群兇不聽、以<sup>(13)</sup>  
刃脅<sup>(14)</sup>之、黽<sup>(15)</sup>勉<sup>(16)</sup>而從<sup>(17)</sup>。文政知<sup>(18)</sup>事必不<sup>(19)</sup>集、陰<sup>(20)</sup>求<sup>(21)</sup>貌<sup>(22)</sup>類<sup>(23)</sup>己者一人、  
曰<sup>(24)</sup>劉四<sup>(25)</sup>、以<sup>(26)</sup>煎<sup>(27)</sup>油<sup>(28)</sup>糍<sup>(29)</sup>為<sup>(30)</sup>業、使<sup>(31)</sup>執<sup>(32)</sup>役<sup>(33)</sup>左右<sup>(34)</sup>。辛<sup>(35)</sup>幼安<sup>(36)</sup>為<sup>(37)</sup>江西<sup>(38)</sup>憲<sup>(39)</sup>、親<sup>(40)</sup>  
提<sup>(41)</sup>死士<sup>(42)</sup>與<sup>(43)</sup>之角<sup>(44)</sup>。困<sup>(45)</sup>屈<sup>(46)</sup>請<sup>(47)</sup>降<sup>(48)</sup>。文政先<sup>(49)</sup>與<sup>(50)</sup>渠魁<sup>(51)</sup>數人<sup>(52)</sup>來<sup>(53)</sup>見<sup>(54)</sup>、約<sup>(55)</sup>曰  
束<sup>(56)</sup>兵<sup>(57)</sup>既<sup>(58)</sup>退、謂<sup>(59)</sup>其徒<sup>(60)</sup>曰、「辛<sup>(61)</sup>提<sup>(62)</sup>刑<sup>(63)</sup>瞻<sup>(64)</sup>視<sup>(65)</sup>不<sup>(66)</sup>常<sup>(67)</sup>、必<sup>(68)</sup>將<sup>(69)</sup>殺<sup>(70)</sup>我。」欲<sup>(71)</sup>遁<sup>(72)</sup>  
去<sup>(73)</sup>、其徒<sup>(74)</sup>不<sup>(75)</sup>可<sup>(76)</sup>。則<sup>(77)</sup>曰、「寧<sup>(78)</sup>斷<sup>(79)</sup>吾<sup>(80)</sup>首<sup>(81)</sup>以<sup>(82)</sup>降<sup>(83)</sup>、死<sup>(84)</sup>先後<sup>(85)</sup>不<sup>(86)</sup>過<sup>(87)</sup>數<sup>(88)</sup>日<sup>(89)</sup>耳。」  
其徒<sup>(90)</sup>又不<sup>(91)</sup>忍<sup>(92)</sup>、乃<sup>(93)</sup>斬<sup>(94)</sup>劉四<sup>(95)</sup>之<sup>(96)</sup>首<sup>(97)</sup>、使<sup>(98)</sup>偽<sup>(99)</sup>為<sup>(100)</sup>己<sup>(101)</sup>首<sup>(102)</sup>以<sup>(103)</sup>出<sup>(104)</sup>、而<sup>(105)</sup>文政<sup>(106)</sup>竟<sup>(107)</sup>  
遁<sup>(108)</sup>去<sup>(109)</sup>、官軍<sup>(110)</sup>迄<sup>(111)</sup>不<sup>(112)</sup>知<sup>(113)</sup>其<sup>(114)</sup>首<sup>(115)</sup>級<sup>(116)</sup>之<sup>(117)</sup>偽<sup>(118)</sup>也<sup>(119)</sup>。

〔鶴林玉露〕

〔注1〕 淳熙 南宋時代の年号。西暦一一七四年～一一八九年

〔注2〕 江湖 民間

(注3) 荆南 地名。現在の湖北省の一部

(注4) 駟 仲買人

(注5) 頼文政 人名

(注6) 毘勉 むりやり

(注7) 劉四 人名

(注8) 油糍 油で揚げた餅

(注9) 辛幼安 人名。辛棄疾。幼安は字あごな

(注10) 江西 地名。長江中流域の南の地域

(注11) 憲 上級の役職

(注12) 渠魁 盗賊のリーダー格の者たち

(注13) 提刑 官名。盗賊を捉えて裁判にかける役職

問一 傍線部分(1)、(2)「自」の読みとして、最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(1) 、

(2) 。

- ① より
- ② ひとり
- ③ したがう
- ④ ひそかに
- ⑤ みずから
- ⑥ わずかに
- ⑦ おのずから

問二

傍線部分(3)「將以何為」の読みとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

103

① まさになにをもつてなすべし

② まさになんすれぞもつてすべき

③ まさになにをもつてなさんとす

④ まさになにのためにもつてせんや

⑤ まさになんすれぞもつてせんとする

問三

傍線部分(4)「知事必不集」の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

104

① 盗賊たちに脅されたことで自分の計略が成功しなくなると分かったので

② 盗賊をはたらくことは絶対に成功しないということを知っていたので

③ 盗賊をはたらくことは必ずしも成功しないということを知っていたので

④ 自分が盗賊の首領になることで成功しなくなると知っていたので

⑤ 自分が盗賊の首領になっても必ずしも成功するとは限らないと知っていたので

問四

傍線部分(5)「辛幼安」の人物像として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

105

① 悪人を厳しく取り締まることで、多くの庶民から慕われている為政者

② 盗賊を厳しく弾劾する一方、降参する者を受け入れる寛大な心を持つ役人

③ 敵の軍に対して容赦のない攻撃をしかける、負けることのないとても強い将軍

④ どんな凶暴な悪人に対しても恐れることなく、容赦なく厳しく取り締まる官僚

⑤ 盗賊を厳しく捉えても、うっかり逃がしてしまう間の抜けたところのある大将

問五 傍線部分(6)「寧断吾首以降」の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 106。

- ① たとえ私の首を斬って盗賊の一団が官軍に降参したとしても
- ② たとえ盗賊の一団の首を斬って、私が官軍に降参したとしても
- ③ 官軍に降参するのに、たとえ私の首を斬る必要があるとしても
- ④ むりに私の首を斬って、すぐに官軍に降参してしまっただとしても
- ⑤ 私の首を斬れば、盗賊の一団は安らかに官軍に降参することができても

問六 傍線部分(7)「耳」の用法は何か。最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は 107。

- ① 反語
- ② 断定
- ③ 限定
- ④ 比況
- ⑤ 感嘆

問七 傍線部分(8)「使偽為己首以出」に付ける返り点として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

108

- ① 使<sub>レ</sub>偽<sub>レ</sub>為<sub>二</sub>己<sub>一</sub>首<sub>一</sub>以<sub>上</sub>出
- ② 使<sub>下</sub>偽<sub>二</sub>為<sub>二</sub>己<sub>一</sub>首<sub>一</sub>以<sub>上</sub>出
- ③ 使<sub>下</sub>偽<sub>二</sub>為<sub>二</sub>己<sub>一</sub>首<sub>一</sub>以<sub>上</sub>出
- ④ 使<sub>レ</sub>偽<sub>二</sub>為<sub>二</sub>己<sub>一</sub>首<sub>一</sub>以<sub>上</sub>出
- ⑤ 使<sub>レ</sub>偽<sub>下</sub>為<sub>二</sub>己<sub>一</sub>首<sub>一</sub>以<sub>上</sub>出

問八 盗賊の首領頼文政は、結局どのような結末を迎えたのか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

109。

- ① 自分一人が官軍に捕まって自分の首を差し出すことによって、仲間たちがみな無事に逃げて行けるようにした
- ② 自分も手下の盗賊の一団もみな逃げて行く途中で官軍に捕らえられ、盗賊の一団といっしょに首をはねられてしまった
- ③ 自分によく似た劉四の首を偽って差し出して自分は逃げようとしたが、官軍に露見してしまい、結局捕まって殺された
- ④ 盗賊の一団とともに捕まったが、リーダー格の数人の首が斬られている時に、官軍の隙を見て自分一人だけ逃げて行った
- ⑤ 盗賊の一団に劉四の首を斬らせるように仕向け、それを自分の首と偽って官軍に差し出させ、自分はさっさと逃げて行った

この頁は白紙です

この頁は白紙です

この頁は白紙です